

「かんしょのさらなる輸出拡大に向けた腐敗対策」 シンポジウム

受付開始13:00

日時

令和6年3月7日(木) 13:30 ~ 16:30

無料

会場

熊本市国際交流会館 6階ホール 熊本市中央区花畑町4-18

輸出かんしょ腐敗低減コンソーシアムでは、日本産かんしょの輸出をさらに拡大するため、輸送中の腐敗を低減する技術体系の確立に取り組んでまいりました。これまでの取り組み及び研究成果について関係者の皆様方にご紹介し、今後の普及に向けて議論することを目的に本シンポジウムを開催いたします。

基調講演「かんしょの海外輸出における現状と課題」 (敬称略)
九州農水産物直販株式会社 代表取締役社長 小田 保

プロジェクト成果の紹介
3Dデータで効率的に学習した傷検知AIの開発
農研機構 中日本農業研究センター 田口 和憲

輸送中のかんしょ腐敗に対する包装資材利用の効果
宮崎県総合農業試験場 松浦 絵美

冬期の香港輸出における輸送腐敗防止技術の現場実装
農研機構 九州沖縄農業研究センター 菅原 晃美

輸出実証試験のご紹介
農研機構 九州沖縄農業研究センター 西場 洋一

パネル討論「かんしょ輸出のさらなる拡大に向けて」
ファシリテーター：農研機構九州沖縄農業研究センター 西場 洋一
パネリスト：
吉村 直喜（九州農水産物直販株式会社）、矢羽田 竜作（有限会社南橋商事）、
馬場 仁（株式会社やまもとファームみらい野）、成果の報告者

参加
申込

以下のURLまたはQRコードからお申込みください。
<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/kanshosympo>

受付締切：令和6年2月22日(木) ※定員(120名)になり次第締切
お問合せ：e-mail：sympo-kansho@ml.affrc.go.jp



共催／輸出かんしょ腐敗低減コンソーシアム、農研機構九州沖縄農業研究センター

本シンポジウムで紹介するプロジェクト成果は、戦略的スマート農業技術等の開発・改良/輸出拡大のための新技術開発「輸出拡大に直結する青果用かんしょの出荷工程における腐敗低減技術の開発」事業（委託元：生物系特定産業技術研究支援センター）により得られたものです。

- ・会場は「敷地内」禁煙です。建物外の周辺も含めお煙草はご遠慮ください。
- ・会場付設の駐車施設には車高制限がございますのでお車でお越しの際はご注意ください。
- ・詳しくは会場（熊本市国際交流会館）のホームページなどでご確認ください。